

アコヤ養殖環境情報
2026-36号
(臨時号)

令和 8年 9月 8日発行
<http://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/16052017292.htm>
三重県水産研究所
TEL 0599-53-0016
FAX 0599-53-2225

◎ 概 要

1. アコヤガイの飼育状況に関する調査結果

- ・ へい死率(6月～8月末まで)は、稚貝11.7%、2年貝6.4%、3年貝10.3%でした。外套膜萎縮発症率(6月～8月末まで)は、稚貝(未調査)、2年貝9.0%、3年貝10.3%でした。

2. 三重県版アコヤタイムライン

- ・ アコヤガイのへい死軽減に向けた「三重県版アコヤタイムライン」は、7月22日からステージ3(警戒)へ移行しています。
- ・ 真珠養殖業者の皆様には、① 貝にとってストレスになる作業を中止、② 稚貝の漁場間の移動(特に湾をまたぐ移動)をしない、③ へい死等調査への協力をお願いいたします。

【注意】貝掃除やカゴ替え等、貝にとってストレスになる作業であっても貝を触らないといけない場合は、この限りではありません。臨機応変な対応をお願いします。

◎ 令和8年度アコヤガイの飼育状況に関する調査結果

令和8年度のアコヤガイのへい死状況を把握するため、県内真珠養殖業者168名を対象に8月24日から9月2日にかけて調査を実施したところ、93名から回答をいただきました(回収率55.4%)。飼育数(6月1日時点の飼育実数)、へい死数(へい死率からの推定値)、へい死率(6月～8月末までのへい死率)、外套膜萎縮発症率(6月～8月末までの発症率)は以下のとおりでした。

1. 稚貝：飼育実総数 4,275,200個、へい死総数 501,025個、へい死率 11.7%、外套膜萎縮は未調査

【秋採苗】

地区	飼育数(個)	へい死数(個)	へい死率(%)	外套膜萎縮発症率(%)
英虞湾_湾奥地区 (5地区)	570,000	12,900	2.3	未調査
英虞湾_湾央地区 (3地区)	38,200	1,600	4.2	未調査
英虞湾以外の地区 (2地区)	56,500	2,100	3.7	未調査
計	664,700	16,600	2.5	
湾奥地区	神明、立神、鵜方、船越、布施田			
湾央地区	間崎、和具、越賀			
以外の地区	阿曽浦、贅浦			

【春採苗】

地区	飼育数(個)	へい死数(個)	へい死率(%)	外套膜萎縮発症率(%)
英虞湾_湾奥地区 (6地区)	1,962,000	281,500	14.3	未調査
英虞湾_湾央地区 (4地区)	1,063,500	158,425	14.9	未調査
英虞湾以外の地区 (4地区)	585,000	44,500	7.6	未調査
計	3,610,500	484,425	13.4	
湾奥地区	神明、立神、鵜方、船越、片田、布施田			
湾央地区	間崎、和具、御座、越賀			
以外の地区	阿曽浦、贅浦、的矢湾、五ヶ所湾			

2. 2年貝：飼育実総数 3,192,500個、へい死総数 203,160個、へい死率 6.4%、外套膜萎縮発症率 9.0%

地区	飼育数(個)	へい死数(個)	へい死率(%)	外套膜萎縮発症率(%)
英虞湾_湾奥地区 (7地区)	1,826,000	124,290	6.8	10.3
英虞湾_湾央地区 (4地区)	908,500	56,370	6.2	7.5
英虞湾以外の地区 (4地区)	458,000	22,500	4.9	6.6
計	3,192,500	203,160	6.4	9.0
湾奥地区	神明、立神、鵜方、船越、片田、布施田、波切			
湾央地区	間崎、和具、御座、越賀			
以外の地区	阿曽浦、神前浦、贅浦、五ヶ所湾			

3. 3年貝：飼育実総数 1,752,200個、へい死総数 180,550個、へい死率 10.3%、外套膜萎縮発症率 10.3%

地区	飼育数(個)	へい死数(個)	へい死率(%)	外套膜萎縮発症率(%)
英虞湾_湾奥地区 (7地区)	905,500	86,350	9.5	11.4
英虞湾_湾央地区 (4地区)	572,000	69,700	12.2	9.5
英虞湾以外の地区 (3地区)	274,700	24,500	8.9	8.3
計	1,752,200	180,550	10.3	10.3
湾奥地区	神明、立神、鵜方、船越、片田、布施田、波切			
湾央地区	間崎、和具、御座、越賀			
以外の地区	阿曽浦、五ヶ所湾、奈屋浦			

調査へのご協力ありがとうございました。本調査は今回で終了いたします。
お忙しいところ、大変お手数をおかけしました。今後とも、よろしくお願いいたします。